



農業委員会だより



第2号
令和5年5月発行

■発行／色麻町農業委員会
☎0229-65-2223

■編集／色麻町農業委員会だより編集委員会
✉nogyoin@town.shikama.miyagi.jp



昨年の5月、地域おこし協力隊が上高城みのりファームの田植え作業を行いました。田植え機が到着するとすぐさま乗り移り、肥料の補充や苗配りも素早く、若いパワーが素晴らしく感じられました。

是非、色麻に定住していただくよう果樹、野菜等の指導も行っていきたいと思っています。

(担当：高橋たえ子委員)



会長あいさつ



会長 堀籠 勝恵



会長職務代理 畑中 長悦

我々農家に甚大な影響を及ぼすことになりました。

さて、本町の農業を取り巻く状況は、集落営農組合や法人組織等への農地の利用集積は一定程度進んできましたが、農業従事者の減少や高齢化に伴い、地域農業の維持・発展のためには、後継者及び担い手の育成確保が喫緊の課題であり、このままの状況が続けば、耕作放棄地の増加も懸念されるところであります。

今後、地域の農地が適切に利用されなくなることが考えられることから、本町においても人・農地プランの法定化に基づき、農業者等との協議を踏まえ、その地域での農業の将来の在り方や農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標として「地域計画」を策定しなければなりません。更には、農業者ごとに利用する農用地等を明示した「目標地図」を作成し、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化など農地利用の最適化を進めていくこととなります。今後、我が町の基幹産業である農業の持続的発展のために農業委員が丸となって取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

農業委員会活動に日頃から格別なるご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、ロシアのウクライナ侵攻は、世界的な物価高騰を招くことになり、懸念されておりました肥料や飼料をはじめハウス資材などの幅広い農業資材の高騰が、

令和4年度農業農村整備優良地区コンクール

「農業振興部門 全国水土里ネット会長賞」

～ほ場整備と担い手法人への農地集積により高収益のごぼうやエゴマの作付けが拡大～



全国土地改良事業団体連合会では、農業農村整備事業を契機として、豊かで競争力ある農業や美しく活力ある農村の実現に取り組んでいる地区を対象に優良地区コンクールを行っており、令和4年度農業農村整備優良地区コンクールにおいて、農事組合法人下高城ふあむが農業振興部門で全国水土里ネット会長賞を受賞いたしました。

購読してみませんか？ 農業者の皆様を応援します！

わかりやすく解説 農業・農政

最新情報を逃さない 経営・流通・技術

忙しくてもまとめて読める

週刊紙

地域版 身近な話題満載

頑張る若手や 女性の元気を応援

お申し込み は農業委員会へ TEL:0229-65-2223

月4回金曜日発行 月額税込み700円(年8,400円)



農地パトロール (利用状況調査)

7月に東部地区、8月に西部地区と2班に分けて実施しました。

特に遊休農地を重点的に調査し、改善の余地がある農地よりも、再生困難な農地が多く見られました。その要因としては、農業者の高齢化や後継者不足もあるのではないかと思います。

また、獣害被害も見られるため、獣害防止柵の設置されたほ場も多く見られました。いずれの場合も関係各所と連携しながら対策に取り組んで行くと共に今年度から、タブレットを有効活用しながら効率的に農地パトロールができるよう努めてまいります。(担当：渡邊義彦委員)



作況調査

令和4年8月25日、作況調査を実施しました。

下高城地区の「金のいぶき(水稻)」、向町地区の「ひとめぼれ・つや姫(水稻)及びえごま」、北大村地区の「だて正夢(水稻)」などの生育状況の調査を行い、途中で各地区の大豆、えごまなども見て回りました。

水稻については、5月始めより約1週間続いた強風により田植え後の活着の遅れが影響したのか、有効茎数が少し足りないように見受けられました。

8月4日発表の作況指数は、宮城は101の平年並みとなっておりますが、実収量はそれを下回ったように思われます。

また、「大豆」「えごま」においては、7月15日、16日の雨による排水不良の影響と思われる生育不良のほ場が見受けられ、改めて排水対策の重要性を感じさせられました。(担当：堀籠慶浩委員)



学校田の田植え、稲刈り

令和4年5月24日、色麻学園小学5年生の田植え体験学習が行われました。私たちの主食、お米について学ぶことは食に対する理解を深めるための手立てです。食糧生産の一部を体験することで、農業の重要性・大変さ・収穫への期待感をもつ体験です。泥の中に足を入れることで泥の感触や温かさを感じて、田んぼにいる生物についても知識を得る。手で植えることで、食糧を得るためには多くの時間と労力が必要であることを体感できます。

10月4日、待ち望んだ収穫の日です。黄金に実った稲穂を子どもたちは、地域コーディネーター、公民館職員、JA加美よつば職員、農業委員から協力をいただき、初めて稲の刈り方や束ね方を教わり、体験学習に励んでいました。(担当：菅原敏臣委員)



令和5年度色麻町農業委員会総会等日程表

年月	項目	農家相談日 (申請期日)	総会開催日	年月	項目	農家相談日 (申請期日)	総会開催日
令和5年	6月	12日(月)	26日(月)	令和5年	11月	10日(金)	27日(月)
	7月	10日(月)	25日(火)		12月	11日(月)	22日(金)
	8月	10日(木)	25日(金)	令和6年	1月	10日(水)	25日(木)
	9月	11日(月)	25日(月)		2月	13日(火)	26日(月)
	10月	10日(火)	25日(水)	3月	11日(月)	25日(月)	

令和5年度 農作業標準賃金額（保存版）

農作業標準賃金額を下記のとおり設定しましたので、農作業賃金の「目安」としてご利用ください。

作業区分		項目	単位	標準額(消費税込み)	摘要
一般作業			1日	8,000円	田植後の補植、水田防除も含む。軽作業は除く。
運搬作業			1日	15,500円	軽トラック
オペレーター			1日	10,000円	
水田耕起	春田	10a	5,200円	整理地13cm以上とする。 未整理田・山間部等は実状による。	
	秋田	//	5,200円		
プラウ耕起	パワーデスク	10a	4,600円	20cm以上	
	プラウ	//	6,100円		
管理	草刈り	1m	10円	畦畔のみ	
	水管理	10a	6,000円	年間	
	畦畔つき作業	1m	30円		
代かき			10a	5,700円	植代まで。（時間をおいて2回かき）
田植機械植	稚苗	10a	5,200円	苗運搬、苗くばりは含まない。 側条施肥 500円増	
	中苗	//	5,700円		
機械用苗	稚苗	1箱	700円		
	中苗	//	650円		
直播	湛水	10a	5,300円	代かき済みほ場とし、種籾、コーティング処理含まず。	
	乾田	//	5,000円	整備済みほ場とし、種籾含まず。	
防除作業			10a	800円	背負い動力散布機（薬剤除く）
			//	1,200円	スプレイヤー（薬剤除く）
堆肥肥料	散布		10a	3,400円	トラクターとマニアスプレッタで10a当約1トンを機械積込み運搬散布
			//	1,000円	機械散布（化学肥料等）
稲刈	コンバイン	籾摺調整まで	10a	28,000円	刈取、運搬、乾燥籾摺調整までとする。 ※色彩選別を含む場合は、1,000円増とする。 結束わらは委託者処理
		刈放	//	17,400円	生籾運搬を含む。
乾燥		20%以上	60kg	780円	玄米換算とする。
		20%未満	//	630円	
籾摺調整			60kg	580円	
精米			60kg	600円	労働費用を除く。
色彩選別			60kg	800円	単独作業
牧草わら	梱包	10a	3,500円	《一貫作業10,000円》	
	刈取	//	3,100円		
	反転	//	3,400円		
	集束	//	1,000円		
	ラッピング	1個	500円	直径1m、フィルム代別	

- ★作業賃金は消費税の対象となりません。
- ★この標準額は目安なので、水稻の増減収、倒伏、湿田等にかかる賃金については、受委託者間で協議の上決めてください。
- ★この標準額は「賄いなし」で1日実働8時間とし、整理田を基準にしています。

賃借料情報の提供（10a当り）

名称	農地区分	A	B	C	普通畑
参考賃借料		11,000円	10,000円	8,000円	3,000円

- ★あくまで『参考賃借料』として示したものです。
- ★賃貸借契約にあたっては、ほ場条件や農地に対する負担（水利費等）を勘案し、受委託者間で協議の上決めてください。

認定農業者等との意見交換会

令和4年12月15日（木）加美よつば農業協同組合農業団地センターにて色麻町認定農業者連絡協議会会員19名と農業委員9名での意見交換会を開催しました。

今回は参加者全員が意見を述べられるよう、3つの班を編成しテーマごとに、「誰が」「何をすべきか」といった形式で行いました。

1班のテーマは、「農地の集約」についてで、「法人を立ち上げ営農しているが、受託している農地をまとめないで存続できない。町、JA、土地改良区などが話し合っ対策を練ってほしい。」

2班のテーマは、「遊休農地の解消方法」についてで、「遊休地はこれから増える一方である。今までの考え方では対応できない。思い切ったことをすべきだ。」

3班のテーマは、担い手不足の解消方法についてで、「YouTubeを活用するなどして、今までの農業のイメージを変えていく必要がある。」「集落営農組合などにおいて、地域の退職者等を活用できるように交流を深めていく必要がある。」等たくさんの意見が出されました。

コロナ禍で短い時間での開催でしたが、他の班の意見も聞こえ、有意義な話し合いの場となりました。

(担当：大泉貞行委員)



みやぎアグリレディース21

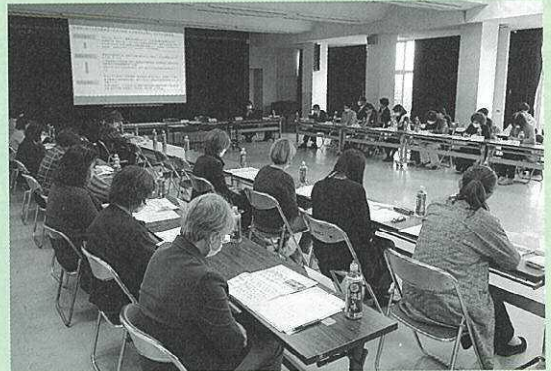
「みやぎアグリレディース21」は、県内の農業委員会の女性組織で、年4・5回の会議があります。

県内の農村女性の起業（農産加工、農産物直売所、農家レストラン、農家民宿）の話の聞いたり、活躍している女性委員の活動や相談内容を共有できる勉強会なども開催されており、大変勉強になります。

仙北ブロックの会合では、地域に見合った話題を少人数で話し合うことで、より具体的な内容の理解にも繋がっています。

これらの活動を本委員会活動にも活かして行きたいです。

(担当：高橋たえ子委員)



秋田県井川町視察

令和4年10月14日、秋田県井川町の農業委員の方々が本町を視察に訪れ、農業伝習館を会場として研修会を行いました。

出席者の紹介から始まり、まずは座学を行い、世界農業遺産（大崎耕土）、江合川、鳴瀬川2つの河川流域に広がる河川氾濫原を拓き、広域の水田農業地帯として発展してきた地域です。YouTube動画の視聴、そして色麻歴史訪ね歩き会の会員である千葉剛久さんより詳しく説明を受けたのが荒川堰用水路（水管理システム）についてです。色麻町に住んでいながら知らないことばかりでした。江戸初期、4年もの歳月をかけて、手作業だけで開削されたそうです。色麻町から大崎市松山にかけて33キロに流れる「荒川堰用水路」です。最後に愛宕山から屋敷林「居久根」を眺望しました。貴重な勉強をさせていただき感銘いたしました。

(担当：齋條仁美委員)



取材：阿部委員 (2023年3月7日(火)実施)



小栗山地区
村上良平さん

●就農のきっかけは？
幼少の頃から農業に携わっていて、年々自分に大半をまかされるようになり専門学校、金属加工会社7年勤務後、自分がやらねばと思いつくことに就農することになりました。

●就農してから年数は？
令和元年(27歳)から5年になります。

●経営規模はどのくらい？
田 18町歩 繁殖牛 2頭。

●就農して良かったと思えることは？
地域の方々と接点、交流が増えたことです。土地ならではの栽培方法や作業の知識が増え、レベルUPにつながっています。また、農繁期シーズンが落ち着いたら、自由に時間を使うことが出来ることです。

●就農して大変だったこと、悩みなどは？
種まきや田植え時期の人手不足(みんな同じ時期なのでアルバイトで対応)。1から10まで(農作業、経理、仕入等)一人で行っているのが大変です。

●趣味、休日の過ごし方は？
スノーモービル 農業

●これからの目標、夢は？
祖父、父の教えを守り、美しい農業を目指していくことです。全てきちんと見通しを立て、きれいな田園風景を保ち、次世代の後継者を育てていきたいです。また、規模拡大をし、忙しくても時間の作れる体制を整えたい(機械作業の効率化)。そして、共同作業を地域の方々と行いながら、利益の出る農業を目指していきます。

●農業は大変なことだけでなく、やれば儲かる(機械も買える)、ライフワークも充実していて楽しい、といったことを伝えていきたいです。

農地の権利移動・設定・転用等の状況 (令和4年4月~令和5年3月)

項目	事由	件数	面積 (m ²)
農地としての利用するための移動農地法第3条許可	所有権移転	売買	3 40,989
		贈与	6 58,826
		交換	0 0
		小計	9 99,815
	賃貸借権の設定	1 12,138	
	区分地上権の設定	0 0	
	使用貸借権の設定	0 0	
	合計	10 111,953	
賃貸借の解約 (農地法第18条通知)		27	280,435
農地としての利用するための移動農地利用集積計画	利用権の設定 (賃貸借)	82	874,986
	利用権の設定 (使用貸借)	4	42,812
	所有権移転 (売買)	4	55,800
	農地中間管理	48	975,589
	合計	138	1,949,187
農地の転用農地法第4・5条許可	自己転用	0	0
	権利移転を伴う転用	1	412
	合計	1	412

農業者年金

長生きをマイナスにしたいくない。農業者のための年金があるなら入りたいと思う。

6つのメリット

- 1. 老後生活に即座に活用できる
- 2. 老後生活に即座に活用できる
- 3. 老後生活に即座に活用できる
- 4. 老後生活に即座に活用できる
- 5. 老後生活に即座に活用できる
- 6. 老後生活に即座に活用できる

詳しくは... <https://www.noonon.jp/>

独立行政法人 農業者年金基金

編集後記

いまだ、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えない中、米価の安価、ロシアのウクライナ侵襲、円安などによる物価高騰で農家の皆様には大変な思いをされているかと思ひます。

暗い話題が多い中、昨年夏の甲子園で仙台育英学園高等学校が見事、悲願の初優勝。サッカー日本代表によるドイツ、スペインの強豪国を破りベスト16入り。そして、WBC2023侍ジャパン日本代表が3大会ぶり3回目の制覇となり多くの感動と勇気をもらいました。

委員活動の一環としてこれからも「農業委員会だより」により町民の皆様へ情報発信をしていければと思ひます。

編集委員

- 委員長 鎌田 一宣
副委員長 渡邊 義彦
高橋たえ子
堀籠 慶浩
早坂 勝一
齋條 仁美